

まつやまジェンダーサミット

日時：2月16日（日） 13時30分～16時30分

会場：松山市男女共同参画推進センターコムズ5階大会議室

参加人数：78名 4部構成で進めました。

1. ミートアップ！問題提起「私たちの地域は、女性に家事・育児・介護以外の役割を期待してきただろうか？」

特別ゲスト：中貝 宗治氏（一般社団法人豊岡アートアクション理事長、前兵庫県豊岡市長）

<地方にとっての最大の課題は、人口減少対策すなわち地方創生>

出ていく若者の（街への）回復率を見たときに、男性は41%に対し、女性は28%で、女性がすーっといなくなる街であることに着目。前豊岡市長として取り組んだことは、（若者、特に女性にとって）突き抜けた「豊岡に暮らす価値（魅力）」の創造で、①環境都市「豊岡エコバレー」の創造 ②受け継いできた大切なものを守り、育て、引き継ぐ ③「深さをもった演劇のまち」の創造 ④「ジェンダーギャップ」の解消 である。

④について事実や情報を集め、男女の賃金格差や機会の格差など、公正さの欠如があった。ギャップを解消するべく、豊岡市ジェンダーギャップ解消戦略を掲げ、市内事業所向けの「豊岡市ワークイノベーション推進会議」を発足させるなど取り組む。

男性は、生活自立のスキルを持たず、生活自立をせず、女性に肩代わりをしてもらってきた。下駄を履かせてもらってきたのは、実は男性である、というメッセージもあった。



2. 人手不足時代の、人的資本経営とウェルビーイング ～女性活躍推進からのより良い脱却～

・土居英雄氏（株式会社愛媛新聞社 代表取締役会長）

・玉井里美氏（株式会社アミックリンクインターナショナル代表取締役）

★大崎麻子氏（特活）Gender Action Platform 理事・国連 女性の地位委員会日本代表）

特別サポーター

進行：堀田真奈（特定非営利活動法人ワークライフ・コラボ 代表理事）

<これからの国の流れ・愛媛松山の事業所はどうか？>

特別サポーターの大崎麻子さんからレクチャーがあり、昨年12月に公表された地方創生2.0「基本的な考え方」、「若者と女性にも選ばれる地域（職場・生活環境）」について。

地域における男女間賃金格差の是正や、非正規雇用の正規化の推進・待遇改善、女性のL字カーブ解消、男性の育児休業の取得促進の推進が重要な施策となる。

愛媛県の企業・行政機関の男女間賃金格差を数字で共有。また、共働きであっても女性に家事育児時間が偏っている、というデータも。

愛媛新聞社の土居会長、アミックインターナショナルの玉井代表取締役からそれぞれ地元で感じるジェンダーに関する話題をご提供いただいた。



3. キャラクター（いこるん）の紹介

身近にあるジェンダーギャップについて、軽やかに対話する機会をつなぐキャラクターとして、いこるんを制作。ワーコラ理事の義野より、そのツールやデザイナーさんのご紹介を行いました。



4. 2024年度の活動「えひめまつやまみらいづくりプロジェクト」での成果発表（報告）

・11月よりスタートした中堅社員向けカリキュラムについて、ワーコラ理事田中より報告。

・株式会社エイジングウェル（発表者：近泉さん）

→対話がしやすい環境づくりから。あいさつ運動を有志で実施し、仲間が増える。

・新開菜実さん（会社員）

→共働き、4人の子育て中。夫の動きは「決定事項」、私の動きは「相談事項」にモヤモヤ。その気づきに、対話と柔軟性をもって調整中。

・株式会社フジコソ（発表者：富岡さん）

→自身のキャリア形成のきっかけになっている家族歴のこと、また社内で悩んでいる女性社員の支えになる決断とそのための行動について。



ゲストのみなさまよりメッセージをいただきました。

土居英雄氏 「ジェンダーギャップ解消のまち まつやま」

玉井里美氏 「動くこと自体が魅力的だと感じられる企業文化や地域の風土」

大崎麻子氏 「えひめメソッド 期待してます！」

中貝宗治氏 「女性たちの静かな反乱から 朗らかな反乱へ」

まつやまジェンダーサミット(コムズとの共催)は無事終了いたしました。

人口減少の背景、また若者や女性が帰ってくるまちにするために必要なこと、
事実とデータで豊岡市の事例からも知ることができました。

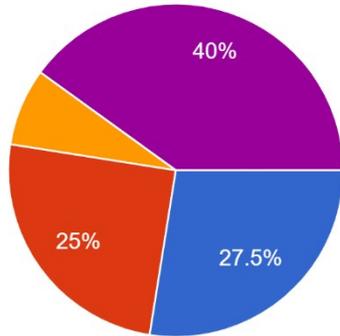
登壇いただいたゲストの皆様、また開催にあたりお力添えいただいた関係者皆様、
本当にありがとうございました。これからがスタートです。

「若者女性」がキーワードですが、誰もが幸せに働き暮らせるために、それぞれの場所で
地域で汗をかいていきましょう。

<2025年2月16日（日）まつやまジェンダーサミット事後アンケート結果>

どのお立場での参加でしたでしょうか

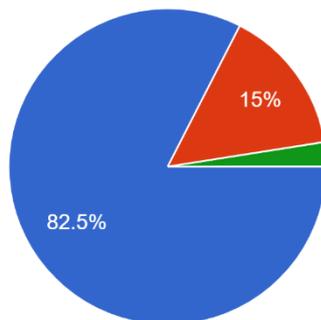
40件の回答



- 産業（企業経営者・勤務者・経済団体）
- 行政（都道府県、市町）
- 教育（学校関係者）
- 地域コミュニティ（町内会、PTA、地区自治協議会など）
- その他

本日のまつやまジェンダーサミットはいかがでしたか。

40件の回答

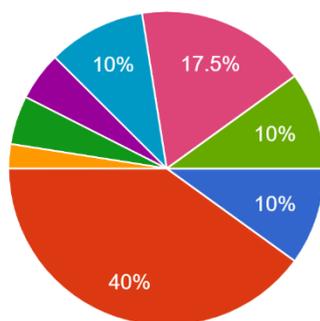


- とても良かった
- 良かった
- 物足りない
- 良くなかった

※良くなかった（1名） 理由記述なし

まつやまジェンダーサミットを知ったきっかけを教えてください。

40件の回答



- コムズからの案内
- ワークライフ・コラボからの案内
- 愛媛県や松山市の行政団体からの案内
- 会社（職場）からの案内
- HP・SNSを見て
- 知人から
- えひめまつやまみらいづくりプロジェクトの関係者
- その他（YUIみらいプロジェクト関係者、）

<「とても良かった」「良かった」を選んだ理由>

- ・豊岡市の実際の取り組み、徹底した取り組みを知ることができた
- ・たくさんの方々からの意見を共有することができたのが楽しかったです。小学生なのですが、子供からの立場としてお話を聞くことができているいい経験になりました。
- ・中貝さんのお話が大変実践的で役に立つ内容がたくさんありました。
- ・ゲストの方々にご意見をいただく機会があり、とても貴重な経験となりました。
- ・このようなイベントは初めてでしたがリアルな声に多く触れることができ考えさせられました。
- ・具体的な話しや紹介もありわかりやすかったです、
- ・私自身が、日頃ジェンダーギャップを感じる機会があまりないと思っており、それはジェンダーギャップへの理解が進んだ年代だからだと思っていた。発言がどんどん出てくるのがジェンダーギャップの解消につながるという話を聞き、周囲の友人らとジェンダーギャップについて話してみたいと思う新しい気づきがあったから。
- ・えひめまつやまみらいづくりプロジェクトでの成果発表が良かった。視点が面白かった。今後の参考にしたい。
- ・本気でジェンダーギャップを解消しようとしている大人の方が沢山いることを知り、とても嬉しく感じたから。
- ・松山でのさまざまな取り組みをきくことができた
- ・登壇者の方のお話で、ジェンダーギャップ解消に向けて、地域でどう取り組んでいくか、とてもわかりやすかった。プログラムも長時間に関わらず、多岐にわたっていて、面白く、いろんな方のお話が聞けて良かったです。
- ・普段考えが及んでいない視点に気づくことができた。
- ・まず中貝さんのお話がわかりやすく気づきが多くあった。他のゲストの方のお話や発表もわかりやすく、もっと多くの方に関心を持っていただきたいと感じた。
- ・国としての方針として若者と女性に選ばれるまちづくりになっていることが、しれたこと。豊岡メソッドの方針が知れたこと(男性にどう浸透させるのかとてもヒントをいただきました)
- ・中貝さんの簡潔で豊かな発想とゲストの方の奇譚なきコメント、発表者の熱意など実践なども踏まえた分かりやすい内容で、自分のできること、すべきことについて改めて考えさせられた。
- ・著名な方のお話を聞いたことと、私の発表に対してコメントとエールを頂けたこと
- ・中貝さんのご講演がよかったが、松山として議論の深め方は物足りなかった。
- ・全てです。講演、パネルトークはもちろん、みらいプロジェクトの方々の発表は本当に素晴らしかったです。本当に私も頑張ろうと心から励まされました。
- ・過去の自分の働き方とも照らし合わせながら、これからどうしていくのかを考える時間となった
- ・この機会に普段お会いすることが出来ないような方々のお話を直接聞くことができた

め。

- ・企業や自分たちの仕事について改めて見直すことができた。違う企業の方との交流が刺激になった。
- ・ジェンダーギャップの解消を進めていった実例やコツを聞くことができよかったです。
- ・ただ女性の採用を増やす、働きやすくする、それだけを考えるのではなく、ジェンダーギャップはいろいろなことに繋がっていて、社会が変わる要因の1つであることを学ぶことができたからです。

<伝えたいこと、今後こういったイベントを開催するにあたってのご意見>

- ・とても素晴らしい会で、もっと宣伝しておけばよかったです。愛媛県民全員に聞いて欲しかったです。
- ・やっぱり休憩時間はあるとよいかと思いました。
- ・種火を絶やさず広げていけるよう、自分もアクションを起こしていきたいと思います。
- ・愛媛で働く看護師が語り合う場を作りたいと考えております。
- ・また開催して下さい。ありがとうございました。交流により広がりもあると思うので、交流の場も。
- ・学生に対してもより周知し、様々な世代でこれからの愛媛について考えていけるようにしていただけたら嬉しい
- ・スタッフの方々の対応もとても良く、4回シリーズのプロジェクトも興味深かったです。当法人でも参考になることばかりでした。ありがとうございました。
- ・えひめメソッドができるよう一緒に頑張りましょう！
- ・5回の講座でたくさんのお話を教えていただき、考える機会や素敵な参加者の皆様と出会えました。半年後くらいに、同窓会のような現状報告会をしてはどうでしょうか？
- ・九州から数年前に松山に来て、九州のようにあからさまに発言する男尊女卑とは違う、変わらなさ、嫌らしさが松山、愛媛にはあると感じています。九州よりも高齢化少子化社会で変わらなくては四国に未来はない。
- ・スタッフの皆様お疲れ様でした。これだけの充実した内容を企画、実行された皆様のお力に感銘を受けました。これからも一緒に取り組みを継続させていただけるとありがたく思います。本当にありがとうございました。
- ・大崎様や中貝様のお話を聞ける機会があれば是非参加したいと思いました。まだまだこれからの課題が多いとは思いますが、少しずつ取り組んで行ければと思いました。
- ・女性が産まないといくと人口は増えないので、行政として学びを進めていきたいと思っています。
- ・今までの日本の風土を変えていくことはとても難しいことだと思いますが、ぜひずっと続けていただきたいです。